

# 環境経営レポート

2023年度（2023年4月～2024年3月）



エコアクション21<sup>®</sup>  
認証番号0001046



**永大化工株式会社**

〒547-0041

大阪府大阪市平野区平野北2-3-9

TEL 06-6791-3355

FAX 06-6791-7121

発行：2024年7月

# 環境経営方針

永大化工（株）はプラスチックに携わる企業としての責任を自覚し、企業活動と地球環境の調和を目指し、資源の保護、並びに環境汚染防止を推進し、環境保全活動の質的向上を継続的に進めていきます。

## 環境経営活動方針

当社の事業活動及び製品、サービスにおいて環境に与える影響を認識、評価し、下記の方針を定め、全従業員に周知し、全員参加で取り組む事とする。

1. 地球温暖化防止の為、二酸化炭素の排出量を削減する。
2. 持続可能な社会の為の省資源を目指した製造、販売プロセスの構築及び節水に努める。
3. 全部門において、循環型システムを開発し、廃棄物削減を進める。
4. 化学物質の適正管理に努める。
5. 環境に関する法規制及び行政の環境施策を厳守し、環境保全に努める。
6. 地域社会の環境保全に貢献出来る職場環境作りを目指す。
7. 環境経営システムの継続的改善に努める。

制定：2019年6月28日

改定：2023年4月1日

代表取締役社長

浦 義則

## 1. 事業所の概要

### (1) 事業者名及び代表者名

永大化工株式会社 代表取締役社長 浦 義則

### (2) 所在地

本 社 〒547-0041 大阪市平野区平野北2丁目3-9

奈良事業所 〒639-0261 奈良県香芝市尼寺408

(小林倉庫) 〒639-0264 奈良県香芝市今泉4-1

天理事業所 〒632-0063 奈良県天理市西長柄町688

栃木事業所 〒322-0302 栃木県鹿沼市深程東山990-12

(大平工場) 〒329-0264 栃木県栃木市大平町西水代2737

### (3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者： 総務部長 徳岡 幹裕 TEL： 06-6791-7753

担当者： 総務部総務課 植野 直彦 TEL： 06-6791-7753

### (4) 事業内容

- ・自動車用フロアマットの開発、製造及び販売
- ・合成樹脂異形押出成形品の開発、製造及び販売

### (5) 事業の規模

製品出荷額： 90.8億円／2023年度

全従業員： 169人／2024年3月31日現在

対象従業員： 169人／2024年3月31日現在

	本 社	奈良事業所 (小林倉庫含む)	天理事業所	栃木事業所
従業員数	21	77	42	29
述べ床面積	1,112 m <sup>2</sup>	6,960 m <sup>2</sup>	6,705 m <sup>2</sup>	6,438 m <sup>2</sup>

### (6) 事業年度

2023年4月～2024年3月

## 2. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：永大化工株式会社

対象事業所：本社・奈良事業所・天理事業所・栃木事業所

活動：本社 経理・総務・輸出入手続

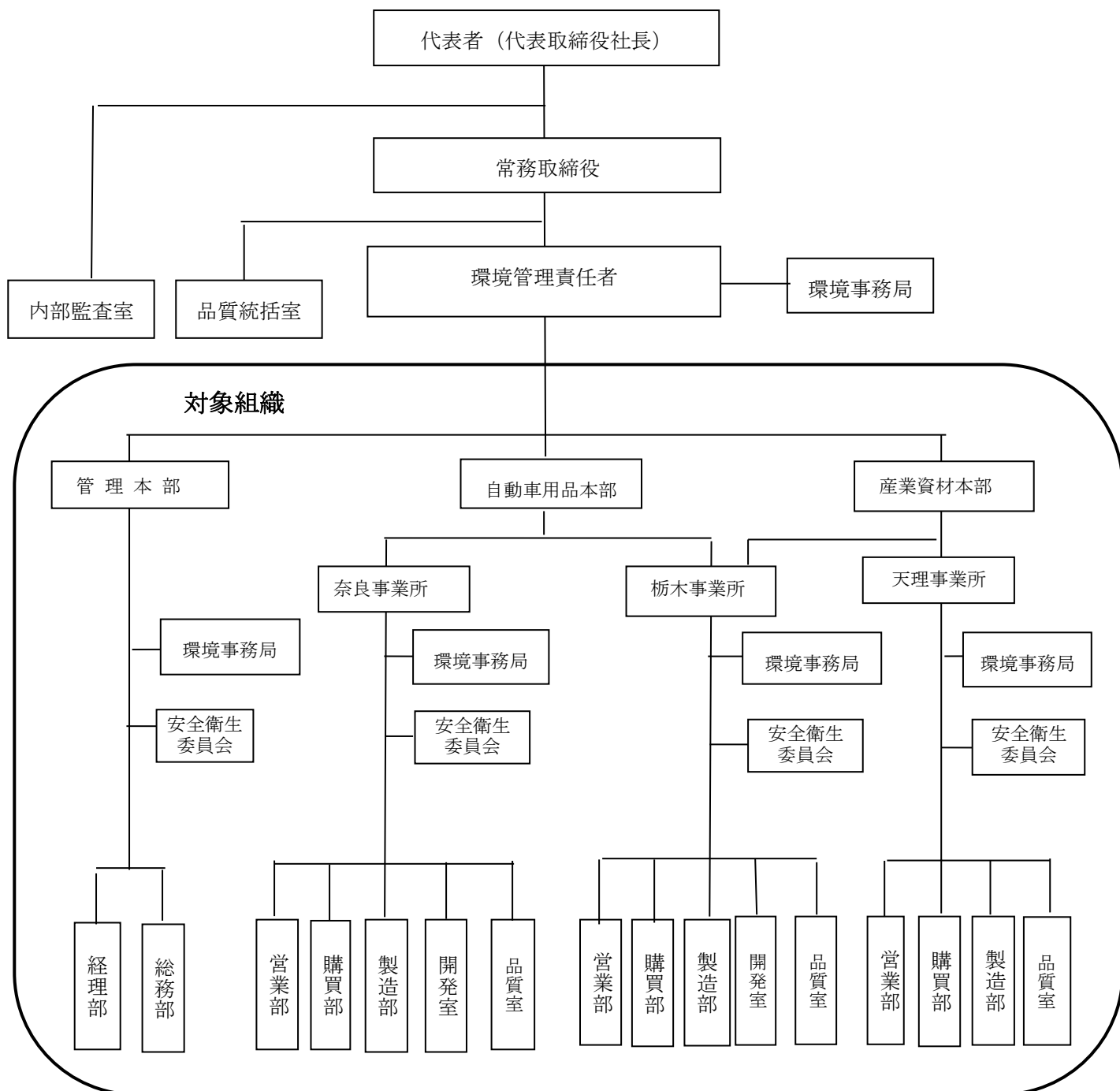
奈良事業所 自動車用フロアマットの開発、製造及び販売

天理事業所 合成樹脂異形押出成形品の開発、製造及び販売

栃木事業所 自動車用フロアマットの開発、製造管理及び販売

合成樹脂異形押出成形品の開発、製造管理及び販売

### 環境経営システム組織図



### 3. 主な環境負荷の実績（2023年度）

各事業所における主な環境負荷の実績は次のとおりです。

項目	単位	本社		奈良		天理		栃木	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
二酸化炭素排出量	kg-CO2	17,379	17,068	147,543.32	128,351.37	368,906	352,370	162,774	176,240
廃棄物排出量	kg	1,057	676	102,815	54,602	9,327	5,150	38,665	5,270
産業廃棄物排出量	kg	0	0	98,751	51,279	8,550	4,400	38,536	5,270
一般廃棄物排出量	kg	1,057	676	4,064	3,323	777	750	129	0
水使用量	m <sup>3</sup>	206	204	1,395	954	1,635	1,316	790	730

項目	単位	全体(本社・奈良・天理・栃木)				
		基準年(2022)	目標(2023)	実績	目標との差	目標(2024)
二酸化炭素排出量	kg-CO2	717,219	696,602.32 (△2.87%)	674,029,37	△22,572.95	691,519 (△0.73%)
廃棄物排出量	kg	152,761	151,864 (△0.59%)	65,698	△86,166	151,360 (△0.33%)
産業廃棄物排出量	kg	146,679	145,837 (△0.57%)	60,949	△84,888	145,355 (△0.33%)
一般廃棄物排出量	kg	6,082	6,027 (△0.90%)	4,749	△1,278	6,005 (△0.37%)
水使用量	m <sup>3</sup>	4,120	4,026 (△2.28%)	3,204	△822	4,001 (△0.62%)

以下、各事業所に分けて記載します。

#### 4. 環境経営目標とその実績（本社）

本社における環境経営目標と実績は次のとおりです。

項 目		年 度	2022年 年 (基準年)	2023年		2024年
				(目標)	(実績)	(目標)
二酸化炭素排出量		総量 (kg-CO <sub>2</sub> )	17,466	17,379 (△0.5%)	17,068 (△2.0%)	17,292 (△1.0%)
内 訳	電力の省エネ	使用量 (kWh)	47,445	47,208 (△0.5%)	48,445 (2.0%)	46,971 (△1.0%)
	ガソリンの削減	使用量 (L)	1,152	1,146 (△0.5%)	851 (△26%)	1,140 (△1.0%)
	都市ガスの削減	使用量 (Nm <sup>3</sup> )	17.00	16.9 (△0.5%)	11.00 (△34.9%)	16.7 (△1.0%)
廃棄物排出量		総量 (kg/年)	1,062	1,057 (△0.5%)	676 (△36.4%)	1,051 (△1.0%)
産業廃棄物排出量		総量 (kg/年)	0	0	0	0
一般廃棄物排出量		総量 (kg/年)	1,062	1,057 (△0.5%)	676 (△36.4%)	1,051 (△1.0%)
水使用量		総量 (m <sup>3</sup> /年)	207	206 (△0.5%)	204.00 (△1.4%)	205 (△1.0%)

電力のCO<sub>2</sub>変換係数は、2021年関西電力の係数（0.311kg-CO<sub>2</sub>/kwh※調整後）を用いて算出。

※基準年を2022年に設定いたします。

※表中の削減率（ ）内の表記は、基準年の数値を基に算出しております。

## 5. 環境経営活動の取り組み計画と評価（本社）

「5%以上削減：◎良く出来た」

「1%以上削減：○まあまあ出来た」

「0.5%以上削減：△あまり出来なかった」

「0.5%未満削減：×全く出来なかった」

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
<p>1. 電力の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不要時の消灯</li> <li>空調温度の適正化</li> <li>不要設備の電源OFF</li> <li>照明器具の効率化</li> </ul>	×	<p>目標：47,208 kWh            実績：48,445 kWh            達成率：△422%            基準年度比2%増            新型コロナウイルス感染症の減少傾向に伴い、営業活動再開が本格化。それに伴う照明並びに空調使用の増加により年度目標は未達。            次年度は目標達成を目指す。</p>
<p>2. ガソリンの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アイドリングストップ</li> <li>急発進・急ブレーキの抑制</li> <li>オンライン会議の利用</li> </ul>	◎	<p>目標：1,146 L            実績：851 L            達成率：5,023%            基準年度比26%削減            オンライン会議等の取り組み増により目標達成。</p>
<p>3. 都市ガスの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>EA21への取組周知</li> <li>機器更新検討</li> </ul>	◎	<p>目標：16.9 m<sup>3</sup>            実績：11.00 m<sup>3</sup>            達成率：5,900%            基準年度比：34.9%削減            前年からのガスコンロからIHコンロへの置き換え、ならびに昼食時の給湯取りやめの継続による。            年度目標達成。</p>
<p>4. 一般廃棄物の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミの分別回収</li> <li>資料の電子化</li> </ul>	◎	<p>目標：1,057 kg            実績：676 kg            達成率：7,291%            基準年度比：36.4%削減            前年度からの取組が継続されており、年度目標も達成。            今後もサーバー利用を進め、ペーパーレス化を推進する。</p>

・会議資料や事務書類の簡素化		
・両面印刷の徹底		
5. 節水	○	目標 : 206.0 m <sup>3</sup> 実績 : 204.00 m <sup>3</sup> 達成率 : 300.0% 基準年度比 : 1.4%削減 節水意識の徹底により今後も無駄のない状況を継続していく。
・節水運動		

## 6. 環境関連法規制等の順守状況（本社）

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される施設等
消防法	自火報、排煙設備、消火器
フロン排出抑制法	業務用空調機（10.1kw×1台、7.2+4.5kw×1台）
廃棄物処理法	一般廃棄物
家電リサイクル法	業務用PC×20台
下水道法	水道設備全般

## 7. 環境関連法規制等順守状況の評価結果（本社）

環境関連法規制等の遵守状況の評価結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

また、過去に関係当局からの違反などの指摘はありません。

## 8. 管理者による全体の評価と見直し（本社）

通常勤務の再開により電力量が増加するのはやむを得ないものの、世界的なエネルギー価格の高騰や円安による電気料金の値上げもあり、電力使用量の増加は経営へ深刻な影響を与える可能性があり、目標達成に注力してほしい。

他の項目については目標を達成しているので、今後も継続して達成できるものと期待する。



## 9. 環境経営目標とその実績（奈良事業所）

当事業本部における環境経営目標と実績は次のとおりです。

項目		年度	2022年 (基準年)	2023年		2024年
				(目標)	実績(基準年比)	
二酸化炭素排出量		総量 (kg-CO <sub>2</sub> )	147,839	147,543.32 (△0.2%)	128,351.37 (△13.18%)	147,248 (△0.4%)
内 訳	電力の 省エネ	使用量 (kWh)	410,956	410,134 (△0.2%)	355,668 (△13.45%)	409,312 (△0.4%)
		生産量あたり 使用量 (kWh/m <sup>2</sup> )	5.038	5.028 (△0.2%)	4.536 (△9.96%)	5.018 (△0.4%)
	ガソリンの 削減 (営業部)	使用量 (L)	3,170.21	3,164 (△0.2%)	3,133 (△1.17%)	3,158 (△0.4%)
	ガソリンの 削減 (開発部)	使用量 (L)	328.78	328 (△0.2%)	226.57 (△31.09%)	327 (△0.4%)
	ガソリンの 削減 (製造部)	使用量 (L)	2,420	2,415 (△0.2%)	1,890 (△21.9%)	2,410 (△0.4%)
	軽油の 削減	使用量 (L)	2,323	2,318 (△0.2%)	2,005 (△13.69%)	2,314 (△0.4%)
廃棄物排出量		総量 (kg/年)	103,021	102,815 (△0.2%)	54,602 (△47.00%)	102,609 (△0.4%)
産業廃棄物排出量		総量 (kg/年)	98,949	98,751 (△0.2%)	51,279 (△48.18%)	98,553 (△0.4%)
一般廃棄物排出量		総量 (kg/年)	4,072	4,064 (△0.2%)	3,323 (△18.39%)	4,056 (△0.4%)
水使用量		総量 (m <sup>3</sup> /年)	1,398	1,395 (△0.2%)	954 (△31.76%)	1,392 (△0.4%)
LPGの削減		使用量 (kg)	102.47	102.27 (△0.2)	81.42 (△20.54)	102.06 (△0.4)

電力のCO<sub>2</sub>変換係数は、2021年度関西電力の係数(0.311kg-CO<sub>2</sub>/kwh※調整後)を用いて算出。

上記の環境経営目標のほか、以下の取り組みを推進する。

② グリーン購入の推進・・・リサイクル材への切替え、データ収集の計画。

② 有害化学物質の適正管理・・・顧客要求に伴うMSDSの入手と保管

なお、当社を取り巻く環境の変化によっては、今年度の環境経営目標を含め改訂する事もあります。

※2023年度は基準年を2022年に変更いたします。

※表中の削減率( )内の表記は、基準年の数値を基に算出しております。

## 10. 環境経営活動の取り組み計画と評価（奈良事業所）

「10%以上削減：◎良く出来た」

「5%以上削減：○まあまあ出来た」

「1%以上削減：△あまり出来なかった」

「1%未満削減：×全く出来なかった」

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
1. 電力の削減	◎	<p>目標：410,134 kWh（基準年度比△0.2%） 実績：355,668 kWh 達成率：6,726.75% 基準年度比：13.45%削減達成。</p> <p>今期はC工場の全水銀灯をLED化。加えてエコモ導入や変圧器の更新も含め、省エネ対策を実施したことにより目標を達成出来た。今後も省エネを意識し取り組みを継続していく。</p>
・不要時の消灯		
・空調温度の適正化		
・不要設備の電源OFF		
・ムリムラムダを排除した生産管理		
・照明器具の効率化		
2. ガソリンの削減（営業部）	△	<p>目標：3,164 L（基準年度比△0.2%） 実績：3,133 L 達成率：586.87% 基準年度比1.17%削減達成。</p> <p>前期比で走行距離も増えているが、HV車を導入した事もあり、燃費が向上した。目標としては微増に留まったが、今後もエコドライブを心掛けていく。</p>
・アイドリングストップ		
・急発進・急ブレーキの抑制		
・冷房の控え目使用		
3. ガソリンの削減（開発部）	◎	<p>目標：328 L（基準年度比△0.2%） 実績：226.57 L 達成率：15,543.83% 基準年度比31.09%削減達成。</p> <p>通期で走行距離自体が減り、ガソリン使用量を抑えられている。使用頻度は減っているが、一工夫でガソリン使用量が変わりますので今後も燃費向上に努めていきます。</p>
・アイドリングストップ		
・急発進・急ブレーキの抑制		
・冷房の控え目使用		
4. ガソリンの削減（製造部）	◎	<p>目標：2,415 L（基準年度比△0.2%） 実績：1,890 L 達成率：10,950.41% 基準年度比21.9%削減達成。</p> <p>生産量の影響もあるが、年間を通してガソリン使用量を減らすことが出来た。今後も引き続き、リーチリフトを有効活用し、更なるガソリン資料量の軽減に努めていきたい。</p>
・アイドリングストップ		
・急発進急ブレーキ		
・フォークリフト空ふかし禁止		
・屋内でのバッテリーリフト使用頻度の向上		

5. 軽油の削減		目標 : 2,318 L (基準年度比△0.2%) 実績 : 2,005 L 達成率 : 6,844.60% 基準年度比 13.69%の削減達成。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイドリングストップ</li> </ul>	◎	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷房の控え目使用</li> </ul>		ダイハツの稼働停止により自社での引取り
<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォークリフトの空ふかし禁止</li> </ul>		回数が増えたため昨年末から期末までの
<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内でのバッテリーリフト使用頻度の向上</li> </ul>		給油回数が微増したが、通期としては目標を達成できている。
6. 産業廃棄物の削減		目標 : 98,751kg (基準年度比△0.2%) 実績 : 51,279kg 達成率 : 24,088.17% 基準年度比 48.18%の削減達成。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの分別回収</li> </ul>	◎	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・工程不良品削減</li> </ul>		ロスとしていた生地を一部ハイペレにまわす事が出来たためゴミの総排出量を削減できた。今後も再利用化できる生地を模索していく。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要以上のサンプル手配防止</li> </ul>		
7. 一般廃棄物の削減		目標 : 4,064kg (基準年度比△0.2%) 実績 : 3,323kg 達成率 : 9,196.95% 基準年度比 18.39%の削減達成。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの分別回収</li> </ul>	◎	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コピー紙の裏紙利用</li> </ul>		ペーパーレス化を含め日常業務での廃棄物削減意識が向上しており結果に表れた。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議資料や事務書類の簡素化</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・両面印刷の徹底</li> </ul>		
8. 節水		目標 : 1,395 m <sup>3</sup> (基準年度比△0.2%) 実績 : 954 m <sup>3</sup> 達成率 : 15,879.83% 基準年度比 31.76%の削減達成。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水運動</li> </ul>	◎	設備の老朽化により度々漏水に悩まされている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水治具の利用</li> </ul>		発見のタイミングにより水道使用量の増減が影響するので対処していく。

9. LPG の削減	◎	目標 : 102.27Kg 実績 : 81.42Kg 達成率 : 10,271.3% 基準年度比 20.54%の削減達成。  使用量については時期的なものもありますが、節約を心掛け、数値を維持出来る様、監視していきたい。
・LPG 使用量削減目標を朝礼で周知		
・LPG 使用用途の必要性再考		
9. 環境配慮型製品の開発	◎	モノマテリアルマットの再生利用方法について検討中。ペレット化→成形確立を目標に進める。用途開発についても別途検討。課題が多く現時点では進展なし
・リサイクル材への切替え		
・名刺の再生紙への変更 ・新たな取り組みの考案・模索		
10. 有害化学物質の管理	◎	顧客要求対応、公的機関へのP R T R届け出等、化学物質は確実な管理ができた。継続していきたい。
・P R T R法指定化学物質保管量の把握		
・化学物質関連法規の順守 ・顧客規制化学物質含有調査の実施		

### 1 1. 環境関連法規制等の順守状況（奈良事業所）

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される施設等
騒音規制法	7.5kw以上の送風機4台・7.5kw以上の空気圧縮機4台
振動規制法	7.5kw以上の空気圧縮機4台
廃棄物処理法	廃プラ（フロアマットプレス抜きロス）、PCB廃棄物、水銀廃棄物
消防法	指定可燃物貯蔵（製品・仕掛品・原材料）最大数量
フロン排出抑制法	恒温槽1台、チラー2台、空気圧縮機5台
高圧ガス保安法	溶接用ガス（アセチレン・アルゴン・酸素）
下水道法	工場トイレ2ヶ所、営業事務所トイレ2ヶ所
家電リサイクル法	液晶テレビ1台、洗濯機2台、パソコン50台
道路交通法（安全運転管理者）	社用車6台（ムーブ・ヴォクシー・ランディ・フリード・ファミリア・タイタン）

## 1 2. 環境関連法規制等順守状況の評価結果（奈良事業所）

環境関連法規制等の遵守状況の評価結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
また、過去3年間にわたって関係当局からの違反などの指摘はありませんでした。

## 1 3. 代表者による全体の評価と見直し（奈良事業所）

工場の老朽化もあり漏水が発生し、その発見時期が節水に大きく関与してくる為、  
日常点検を心掛け早期発見に努めて下さい。ダイハツの不正による影響も限定的になりつつあるもの  
の、原材料費、エネルギー価格の高騰や円相場の推移によって今後も厳しい経営環境が懸念される。  
このような状況下にあっても、省エネ・CO<sub>2</sub>削減、廃棄物の再使用・再資源化などの社会的課題を解  
決する取組を今後も継続し、持続可能な循環型社会の実現に貢献していかなければならない。

#### 14.環境経営目標とその実績(天理事業所)

当事業所における環境経営目標と実績は次の通りです。

年度 項目		年		2023年		2024年	2025年
		2022年 (基準年)		(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
二酸化炭素 排出量		総量 (kg-CO <sup>2</sup> )	388,322	368,906 (Δ5%)	352,370 (Δ9.3%)	365,023 (Δ6%)	361,139 (Δ7%)
内 訳	電力 (製造)	使用量 (kWh)	1,185,203	1,125,943 (Δ5%)	1,069,900 (Δ9.7%)	1,114,091 (Δ6%)	1,102,239 (Δ7%)
		単位あたり 使用量 (kWh/kg)	14.186	13.477 (Δ5%)	15.283 (+7.7%)	13.335 (Δ6%)	13.193 (Δ7%)
	電力 (営業)	使用量 (kWh)	23,636	22,454 (Δ5%)	22,879 (Δ3.2%)	22,218 (Δ6%)	21,981 (Δ7%)
	軽油	使用量 (L)	931	884 (Δ5%)	936 (+0.5%)	875 (Δ6%)	866 (Δ7%)
	ガソリン	使用量 (L)	4,153	3,945 (Δ5%)	4,319 (+4.0%)	3,904 (Δ6%)	3,862 (Δ7%)
	LPG	使用量 (kg)	112.2	106.6 (Δ5%)	26.9 (Δ76%)	105.5 (Δ6%)	104.3 (Δ7%)
廃棄物排出量		総量 (kg/年)	9,818	9,327 (Δ5%)	5,150 (Δ47.5%)	9,229 (Δ6%)	9,131 (Δ7%)
内 訳	産業廃棄物	廃棄量 (kg/年)	9,000	8,550 (Δ5%)	4,400 (Δ51.1%)	8,460 (Δ6%)	8,370 (Δ7%)
	一般廃棄物	廃棄量 (kg/年)	818	777 (Δ5%)	750 (Δ8.3%)	769 (Δ6%)	761 (Δ7%)
水使用量		総量 (m <sup>3</sup> )	1,721	1,635 (Δ5%)	1,316 (Δ23.5%)	1,618 (Δ6%)	1,601 (Δ7%)

電力の変換係数は、2021年関西電力の係数(0.311)を用いて算出しました。

上記の目標のほか、以下の取り組みを推進します。

- ①グリーン購入の推進…リサイクル材への切り替え
- ②環境配慮製品の開発…循環材での新規製品の開発

なお、当社を取り巻く環境の変化によっては、今年度の目標を含め改定することもあります。

### 15.環境経営活動の取り組み計画と評価(天理事業所)

「10%以上削減:◎良く出来た」

「5%以上削減:○まあまあ出来た」

「1%以上削減:△あまり出来なかった」

「1%未満削減:×全く出来なかった」

「未達:×」

取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
1.電力の削減(製造部 他)	○	<b>【使用量】</b> 目標 1,125,943kWh 実績:1,069,900kWh 達成率:194.57% 基準年度比:9.7%削減 <b>【単位当たり】</b> 目標:13.477kWh/kg 実績:15.283kWh/kg 達成率:△154.66% 基準年度比:7.7%増加 基準年度の見直しにより、目標を達成することができた。 単位当たりの実績は増加傾向にあるので、生産量に注視する。
・照明のLED化		
・待機電力の削減		
・省エネ対応設備の見直し (冷却エアコンプレッサー→ブロアに変更)		
2.電力の削減(営業部 他)	△	目標:22,454kWh 実績:22,879kWh 達成率:64.05% 基準年度比:3.2%削減 目標達成には至らなかったが、基準年度比では削減できた。
・省エネ対応設備の見直し		
・クールビズ、ウォームビズ運動		
3.軽油の削減	×	目標:884L 実績:936L 達成率:△10.74% 基準年度比:0.5%増加 生産ライン増設後に継続されている生産活動により、フォークリフトを用いることが増えたことが影響していると考えられる。
・エコドライブ運動展開		
4.ガソリンの削減	△	目標:3,945L 実績:4,319L 達成率:△79.94% 基準年度比:4.0%増加 顧客先を訪問する機会が増えてきたことから、社用車を使用する機会が増えたと思われる。
・エコドライブ運動展開		
・買い替え時に省エネ対応車購入を検討		

5.LPGの削減	◎	目標:106.6L 実績:26.9L 達成率:1,520.50% 基準年度比:76.0%削減 試験機の使用頻度が低くなった。試験機使用部署の情勢によるので、動向を注視する。
・節約運動		
6.産業廃棄物(廃プラ)の削減	◎	目標:8,550kg 実績:4,400kg 達成率:1022.22% 基準年度比:51.1%削減 廃プラの分別が進み、排出量を削減できた。
・分別による社内再利用の見直し検討		
・押出、加工ロス低減(寸法取りの見直し等)		
7.一般廃棄物の削減	○	目標:777kg 実績:750kg 達成率:166.26% 基準年度比:8.3%削減 電子メールなどデータによるやり取りが増え、印刷コピーの削減が進んだものと考えられる。
・ゴミの分別、焼却から古紙回収への移行		
・電子メールによる印刷コピー削減		
8.水使用量	◎	目標:1,635 m <sup>3</sup> 実績:1,316 m <sup>3</sup> 達成率:470.66% 基準年度比:23.5%削減 基準年度を見直し、目標を達成することができた。
・節水型便器への交換		
・クーリングタワーからの水漏れ監視		
9.グリーン調達	×	改めて調査を実施する。
・リサイクル材への切り替え		
・名刺の再生紙への変更		
・グリーン調達品の優先購入		



## 16.環境関連法規等の順守状況(天理事業所)

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される施設等
騒音規制法	7.5kw以上の空気圧縮機及び粉砕機
振動規制法	7.5kw以上の空気圧縮機及び粉砕機
廃棄物処理法	廃プラ
消防法	消火ポンプ室(防火水槽)
フロン排出抑制法	空気圧縮機
下水道法	事務所及び工場トイレ
家電リサイクル法	エアコン、冷蔵庫、洗濯機、パソコン

## 17.環境関連法規制等順守状況の評価結果(天理事業所)

環境関連法規制等順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

また、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

## 18.代表者による全体の評価と見直し(天理事業所)

廃棄物排出量に関しまして、廃棄物量が目標に対し大幅にクリアーしており評価致します。

引き続き尽力願います。

電力の削減につきまして、電力量は微減となっておりますが、照明のLED化、省エネ設備導入など一定の評価はしておりますが、事務所・工場事務所・品質室において無駄な電力消費が見受けられます。エアコン切・消灯など今一度 チェックをお願いいたします。

## 19. 環境経営目標とその実績（栃木事業所）

当工場における環境経営目標と実績は次のとおりです。

項目		年度	2022年 (基準年)	2023年		2024年	2025年	2026年
				(目標)	(実績)			
二酸化炭素排出量		総量 (kg-CO <sub>2</sub> )	163,592	162,774 (△0.5%)	176,240 (+7.7%)	161,956 (△1.0%)	161,138 (△1.5%)	160,320 (△2.0%)
内 訳	電力の 省エネ	使用量 (kwh)	340,044	338,344 (△0.5%)	369,121 (+8.6%)	336,643 (△1.0%)	334,943 (△1.5%)	333,243 (△2.0%)
	ガソリンの 削減	使用量 (L)	4,410	4,388 (△0.5%)	3,695 (△16.2%)	4,366 (△1.0%)	4,344 (△1.5%)	4,322 (△2.0%)
	LPG の削減	使用量 (m <sup>3</sup> )	38.90	38.71 (△0.5%)	33.0 (△14.8%)	38.51 (△1.0%)	38.32 (△1.5%)	38.12 (△2.0%)
	灯油の 削減	使用量 (L)	890	886 (△0.5%)	440 (△51%)	881 (△1.0%)	877 (△1.5%)	872 (△2.0%)
廃棄物排出量		総量 (kg/年)	38,860	38,665 (△0.5%)	5,270 (△86.4%)	38,471 (△1.0%)	38,277 (△1.5%)	38,082 (△2.0%)
内 訳	産業 廃棄物	総量 (kg/年)	38,730	38,536 (△0.5%)	5,270 (△86.4%)	38,342 (△1.0%)	38,149 (△1.5%)	37,955 (△2.0%)
	一般 廃棄物	総量 (kg/年)	130	129 (△0.5%)	0 (△100%)	129 (△1.0%)	128 (△1.5%)	127 (△2.0%)
水使用量		総量 (m <sup>3</sup> /年)	794	790 (△0.5%)	730 (△8.1%)	786 (△1.0%)	782 (△1.5%)	778 (△2.0%)

電力のCO<sub>2</sub>変換係数は、2021年東京電力の係数（0.451）を用いて算出。

上記の目標のほか、以下の取り組みを推進する。

グリーン購入の推進・・・リサイクル材への切替え。

② 環境配慮製品の開発・・・循環材での新規製品の開発。

なお、当社を取り巻く環境の変化によっては、今年度の目標を含め改訂する事もあります。

## 20. 環境経営活動の取り組み計画（栃木事業所）

「10%以上削減：◎良く出来た」 「5%以上削減：○まあまあ出来た」

「1%以上削減：△あまり出来なかった」 「1%未満削減：×全く出来なかった」 「未達：－」

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
1. 電力の削減	×	目標 : 338,344kWh 実績 : 369,121kWh
・照明の適正管理		達成率：△1,710.19% 基準年度比：8.6%増加 新たに生産が始まった2022年度を基準に目標を立て、2022年度の0.5%削減を目標に電力の消費削減に努めた。 結果は、目標値を達成できなかった。 今期目標値の達成に向けて消費電力の削減に努める。
・不要な照明の消灯		
・冷暖房の適温化		
2. ガソリンの削減	◎	目標 : 4,388 L 実績 : 3,695 L 達成率：3,243.63% 基準年度比：16.2%削減
・エコドライブの周知徹底		今期のガソリン消費と燃費ともに目標を達成することができた。 今期も引き続き、エコドライブを心掛ける。
・定期点検の励行		
3. LPGの削減	◎	目標 : 38.71 m <sup>3</sup> 実績 : 33.0 m <sup>3</sup> 達成率：3,033.42% 基準年度比：15.2%削減
・安全衛生委員会での節約喚起		前年度から使用量を削減することができた。今期も引き続き使用を節約できるように努力する。
4. 灯油の削減	◎	目標 : 886 L 実績 : 440 L 達成率：1,0112.36% 基準年度比：50.6%削減
・灯油ストーブを使用する場合温度を高め設定する。		気候によって使用量が変化するが、比較的冬場も温暖であったため、石油ストーブの使用を抑えることができた。
5. 産業廃棄物の削減	◎	目標 : 38,536 kg 実績 : 5,270kg 達成率：17,278.60%

<ul style="list-style-type: none"> <li>・異常在庫の分別による社内再利用を推進</li> </ul>		<p>基準年度比：86.4%削減</p> <p>今期の産業廃棄物は大幅に減少した。 廃棄物は前期に処分し、今期の廃棄物排出量は減少した。</p>
6. 一般廃棄物		<p>目標：129kg 実績：0kg 達成率：20,000% 基準年度比：100%削減。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの分別</li> </ul>	—◎	<p>一般廃棄物は、従業員各自持ち帰りを徹底した。</p>
7. 節水		<p>目標：790 m<sup>3</sup> 実績：730 m<sup>3</sup> 達成率：1,612.09% 基準年度比：8.1%削減</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水の周知徹底</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・出退勤時の給水バルブ開閉を励行</li> </ul>	○	<p>今期も引き続き節水を継続できるように努力する。</p>
8. グリーン調達		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル材への切替え</li> </ul>	×	<p>今年度グリーン購入品目を整理し、その購入比率を高めることに努めた。今期も名刺の再生紙変更について全社的に検討する。次年度も環境活動計画に沿って継続的に活動する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・名刺の再生紙への変更</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン調達品の優先購入</li> </ul>		
9. 環境に調和した製品開発		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境配慮型素材の製品開発</li> </ul>	×	<p>今期も環境配慮型素材を使用した製品の開発を推進し、顧客に採用して頂けるように、環境活動計画に沿って活動する。</p>

## 2.1. 環境経営関連法規制等の順守状況（栃木事業所）

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される施設等
騒音規制法	7.5kw以上の空気圧縮機 1台
振動規制法	7.5kw以上の空気圧縮機 1台
廃棄物処理法	廃棄物
フロン排出抑制法	7.5kw以上の業務用空調機 5台、低温恒温恒湿器 1台
浄化槽法	浄化槽1台
下水道法	工場トイレ2ヶ所、営業事務所トイレ2ヶ所
家電リサイクル法	洗濯機 1台、パソコン28台

## 2.2. 環境経営関連法規制等順守状況の評価結果（栃木事業所）

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

また、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

## 2.3. 代表者による全体の評価と見直し（栃木事業所）

①電気代について製造現場で使用の割合が大きいことから、いくら他場所の節電に心掛けても、結果は生産数量に左右されてしまう。よって製造現場と他場所と別計測を図りたい。

②今後 CO2 排出量の測定を求められる時流にあるため、対応できるよう準備を始めたい。

③環境に関し、全従業員に対し教育を行うよう推進する。

[今期中に教育資料作成して来期より実施できるようにする]

## 2.4. 代表者による全体の評価と見直し(全社)

昨年度は全社的に廃棄物の大幅な削減を行い、自動車用品本部ではロスとしていた生地のリ利用化、産業資材本部では廃プラの分別を進めるなどで達成できた。

一方、生産活動活発化と新型コロナウイルス感染症の感染終息に伴う事務所外への外出活動の本格的再開により、照明や空調機器の利用に伴う電力使用の増加、ガソリン使用の増加も一部で見られた。

今後も、省エネ・CO2削減、廃棄物の再利用・再資源化などの社会的課題を解決する取組みを継続して実施し、持続可能な循環型社会の実現に向けて全社を挙げて目標達成に努めていただきたい。

2024年3月31日

環境経営方針変更なし

環境経営目標・計画変更あり

実施体制変更なし

その他なし